

祭りの前に、ゆっくりと聞きませんか！



曲目

1. 本囃子

- ① 嘉和羅恵比寿(かわらえびす)
- ② 神楽
- ③ 万歳 どんどん
- ④ 仮名和(かなわ)
- ⑤ 唐加茂辞(からかもじ)
- ⑥ 神楽 どんどん
- ⑦ 江戸越後獅子
- ⑧ 邯鄲(かんとん)
- ⑨ 二つ どんどん
- ⑩ 開花(かいかい)
- ⑪ 桜揃い I
- ⑫ 桜揃い II

2. 雑曲

- ① 銀囃子
- ② ちゃちゃりこ
- ③ 見渡せば
- ④ ちゃちゃりこくずし
- ⑤ おっぴきだいさん
- ⑥ チェンチコ
- ⑦ 弥栄(いやさかえ/イヤサー)
- ⑧ 宮づくし
- ⑨ 戻り囃子

3. 曳山囃子の起り

永安三年(1774年)山王町に太鼓台があり、太鼓山番付鬨取りの記録あり、(久々江屋文書)太太鼓と横笛を基本としたお神楽囃子であったように思われる。

文政のころ(1818年)「瞽女囃子」といわれるものがあり、立町の山王社横に(七間町)瞽女町あり、ここで三味線・笛・太鼓の芸人衆が曳山囃子を育ててきたとされている。

その後「囃子」は、曳山町ごとに楽曲や曲態が多少の相違はあったが、のちに、遊芸の長唄や義太夫を取り入れた賑囃子の研究も進み、擦鉢も加わって今のような囃子に統一されたのは、明治の初期頃と言われている。

現在練習している子供達も総出演します。是非応援してください。